

5695件「冰山の一角」保団連

マイナンバーカード保険
証と従来の健康保険証で負

担割合が異なるトラブルが
5695件以上となり厚生労
働省が公表したことに對し
て、全国保険医団体連合会
(保団連、住江憲男会長)
は29日、トラブルの解消の
ため全被保険者の調査と情
報公開を求める声明を発表
しました。

声明は、厚労省調査につ
いて被保険者が所属する保
険者や誤登録の内容など、
トラブル解消に必要な情報
は開示されていないと指
摘。調査対象も「全被保険
者」を対象としており、誤
登録は水山の一角といわさ
めました。

るを得ないとしています。
そのうえで、最大のトラ

ブル防止策は健康保険証を
残すことだと強調し、患者
らに受診と健康保険証を持
参するよう広く呼び掛け
ることを求めていました。

また、オンライン資格シ
ステムのデータと異なる負
担割合が診療報酬の請求に
使われるセブトコンピュータ
ーで表示されるトラブルの
厚労省調査結果にも言及。
保険請求に重大な影響を与
えかねない事態だとし、異
なる負担割合が表示される
場合がある製品などを、求
厚労省が公表するのことを求